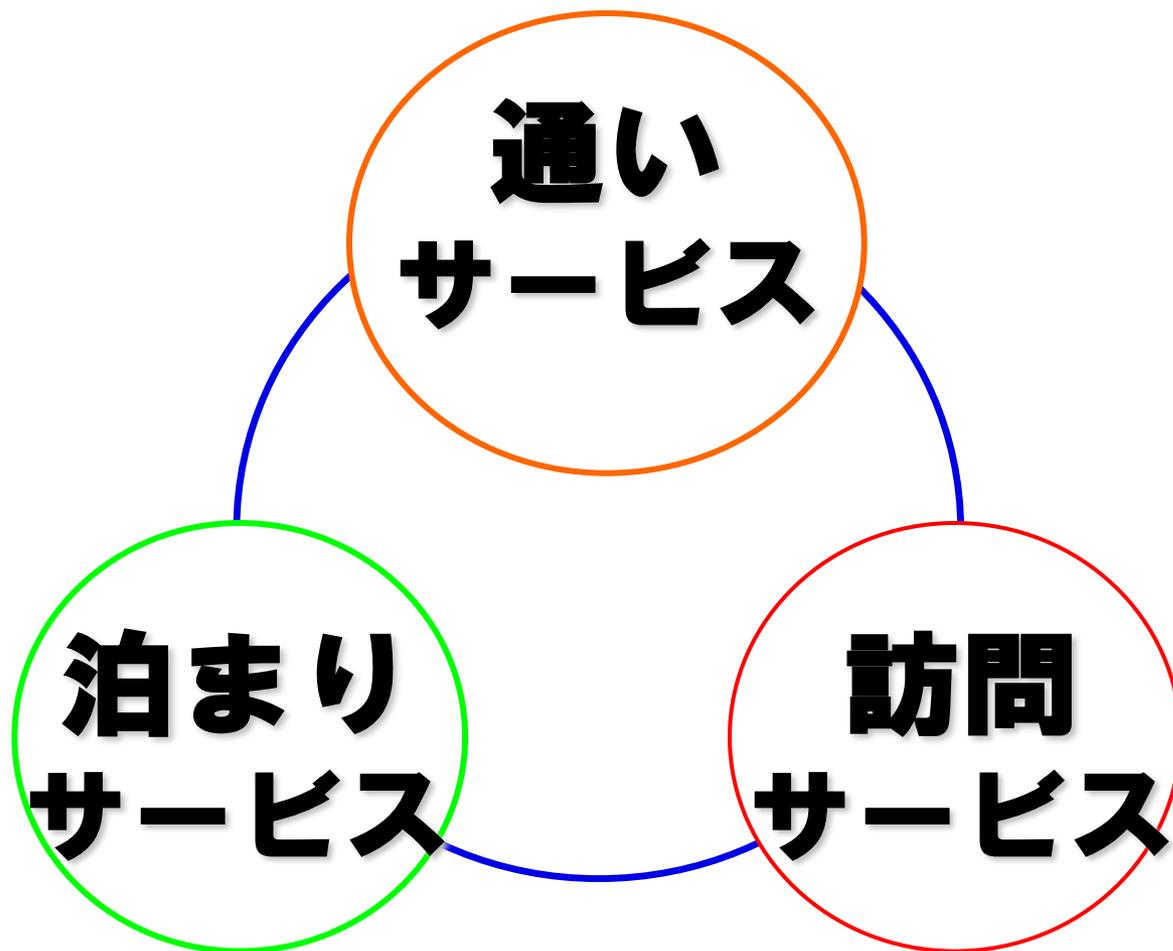


小規模多機能ホム一本町相扶園 (小規模多機能型居宅介護支援事業所)

管理者 津村 直美

小規模多機能型居宅介護とは？



同じ職員が3つのサービスを担当してくれるので安心です。

小規模多機能は「通い」でのご利用に加えて、泊まりや訪問のサービスを行います。

認知症の方、一人暮らしの方、高齢者世帯の方、ご家族がお仕事等で不在の方等、住み慣れた家で生活を続けていきたいと希望される方が対象の小規模多機能です。

1 利用対象者

- ①要支援・要介護認定区分1～5の方 ②庄原市内在住の方

2 利用定員 25名（登録制）1日の定員・・通い15名 泊まり9名

認定区分	月の利用料			
要介護1	10,320	その他 ・サービス提供体制加算 ・認知症加算 ・処遇改善加算 ・初期加算		
要介護2	15,167			
要介護3	22,062			
要介護4	24,350			
要介護5	26,849			
介護保険以外の実費 ①宿泊費 1,400円 ②食費 朝300円 昼600円 夕600円 ③その他 洗濯1回100円 レク・おむつ代等				

小規模多機能と居宅介護支援

	小規模多機能型居宅介護	居宅介護支援
ケアマネジメントチームの在り方	集まりやすい。 合意が得やすい。 連携がとりやすい。	サービス提供事業者が、種類が多いほど日々の連絡調整に時間がかかる。
直接ケアの実施	介護支援専門員が、直接ケア(入浴・食事・排泄・送迎など)を行うことがある。	基本的に、介護支援専門員が直接ケアを行う事はない。
家族とのコミュニケーション(頻度と時間)	ケアを目的とした訪問や、通いの送迎を行う中で、家族とのコミュニケーションを日常的に図ることができる。	月に1度以上のモニタリング・プラン作成の為に訪問する。

小規模多機能ケアマネジメントの特徴

- ケアマネジメント機能とサービス提供機能が一つの事業所で「同居」しているのが「小規模」。
- 日常的意思疎通や情報交換及びサービス担当者会議の開催頻度の増加や、効果的な合意形成が望める。
- また、急なサービスの導入に際しても、計画作成者の事前承認を得ずとも対応が出来るため、臨機応変できめ細やかな対応も可能となる。

小規模多機能の支援とは

- 1人ひとりに向き合い、気持ちに寄り添う
- 1日の生活がスムーズに流れる支援
- 家族や地域社会とのつながりを断ち切らない支援
- 自分の家や地域社会から切り離さない支援
- 生きる力(人としての誇りや意欲)を奪わない支援
- なじみの関係を築いていく支援
- 家族や地域社会との関係を調整する支援

事業所と地域とのつきあい

自治会の定期的な清掃活動



以下のスライドは写真中心のために掲載していません。

- 幼稚園の子ども達との交流
- 高校見学と実習
- 高校生の卒業研究への協力
- 本人と共に過ごし支え合う関係
- 利用者同士の関係の支援
- 災害対策・火災訓練の様子①
- 災害対策・火災訓練の様子②
- 日々のその人らしい暮らし
- 食事を楽しむ事のできる支援
- 役割や楽しみごとの支援
- 日常的な外出支援
- お金を使う事の支援

小規模多機能が目指す支援

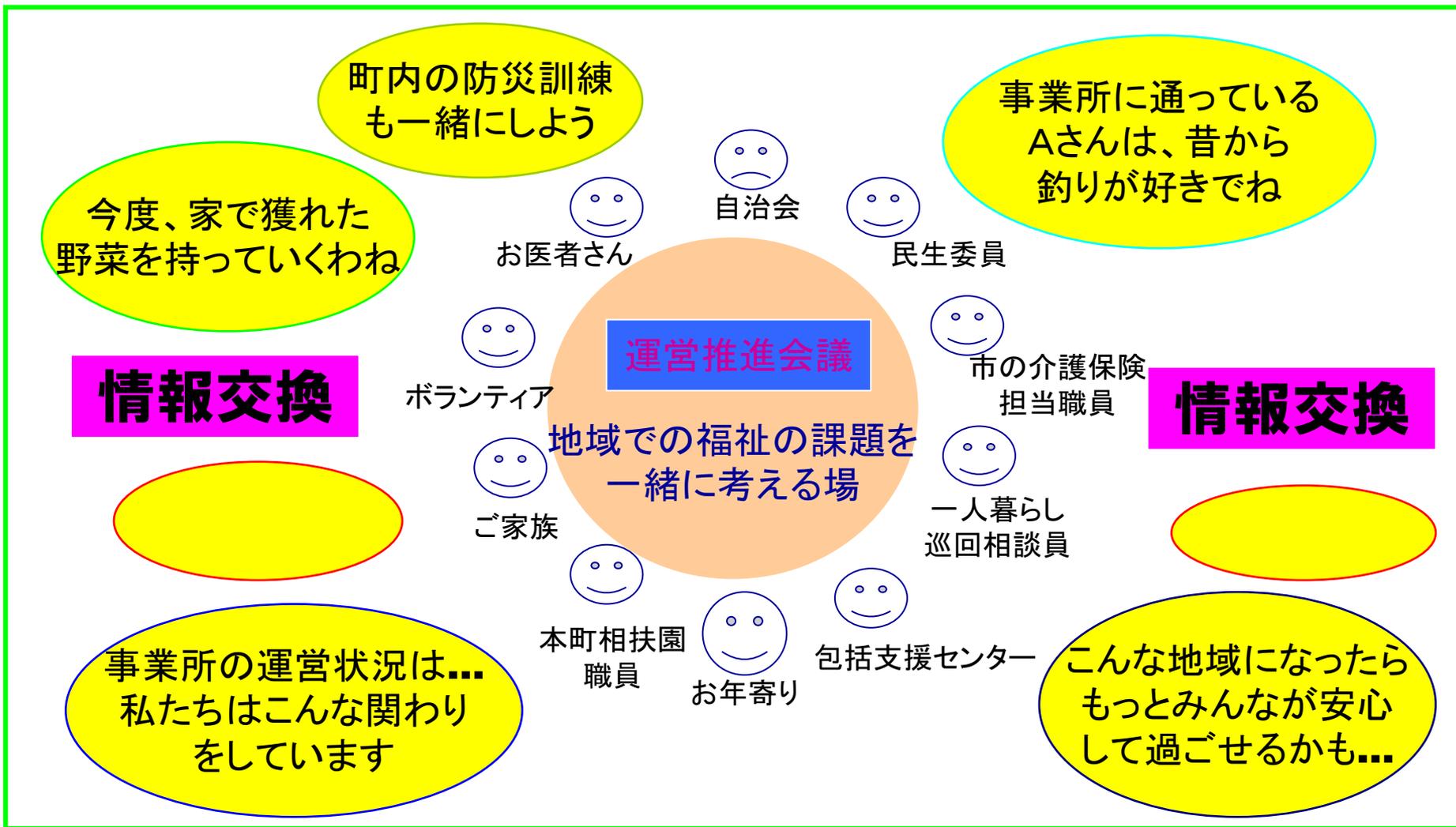
本人の思いや願いをかなえる支援

24時間365日「その人らしい生活」を支える

馴染みの地域で暮らし続けることの支援

地域との支えあい

地域みんなで考える



町内の防災訓練も一緒にしよう

事業所に通っているAさんは、昔から釣りが好きでね

今度、家で獲れた野菜を持っていくわね

情報交換

運営推進会議

ボランティア

地域での福祉の課題を一緒に考える場

市の介護保険担当職員

情報交換

ご家族

一人暮らし巡回相談員

本町相扶園職員

お年寄り

包括支援センター

事業所の運営状況は... 私たちはこんな関わりをしています

こんな地域になったらもっとみんなが安心して過ごせるかも...